



平和について学び，考え，発信しよう！

ふくやまピース・ラボ事業

活動報告集（2021年度）



ふくやまピース・ラボ事業について

■ ふくやまピース・ラボとは

被爆・福山空襲から70年を迎えた2015年度に発足し、2021年度で7年目を迎えました。戦争を知らない若い世代が、福山空襲や原爆について学習し、平和について考え、活動を通して平和へのメッセージを発信することを目的に活動しています。



2015



2016



2017



2018



2019



2020

■ 活動記録（2021年度）

1	2021年 7月11日(日)	開講式・オリエンテーション
2	2021年 7月18日(日)	講義「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」
3	2021年 7月23日(金)	絵本「母と子の八月八日-福山空襲と母子三人像-」の朗読動画収録
4	2021年 8月 5日(木)	「ヒロシマ青少年平和の集い」オンライン参加
5	2021年 8月 8日(日)	「第67回原爆・福山戦災死没者慰霊式」参列
6	2021年 10月 3日(日)	「ピースウォーク」の実施に向けて
7	2021年 10月23日(土)	「戦争体験を聴き取る会」への参加
8	2021年 10月24日(日)	講義「福山空襲 ～ 8月8日に体験したこと ～」
9	2021年 10月30日(土)	広島中・高校生ピースクラブとの交流
10	2021年 11月 7日(日)	「ピースウォーク」の実施に向けて
11	2021年 11月21日(日)	「ピースウォーク」の実施に向けて
12	2021年 12月 5日(日)	「ピースウォーク」の実施に向けて
13	2021年 12月11日(土)	「ピースウォーク」の実施に向けて(リハーサル)
14	2021年 12月12日(日)	「ピースウォーク」の実施
15	2022年 2月27日(日)	1年間の活動を振り返って「ピースアートの制作」
16	2022年 3月13日(日)	修了式

福山空襲の概要

福山への空襲は1945年に始まりました。最初は大津野村(現在の大門町あたり)にあった福山海軍航空隊が、空母艦載機によって繰り返し銃撃を受けました。7月31日夜、B-29が1機飛来し、空襲予告ビラ約6万枚を散布。

そして、8月8日午後10時25分ごろ、テニアン基地から発進した、91機のB-29が襲来し、約1時間にわたり556トンの焼夷弾を投下しました。焼夷弾は豪雨のように降りそそぎ、福山の街を焼き払いました。市街地の約8割を焼失し、355人もの尊い命を失いました。



御船町より北を望んだ写真

撮影：瀬口 利一さん



「福山駅」8月9日撮影

撮影：嶋原 吉之祐さん

活動報告（全16回）

■ 第1回 開講式・オリエンテーション（7/11）



ふくやまピース・ラボ7年目の活動は、5人のメンバーでスタートしました。オリエンテーションでは、テーマごとに自分の考えや思いを発表しました。

ふくやまピース・ラボの活動で取り組みたいこと

- ・戦争を知らない世代に平和の大切さを伝えていきたい。
- ・自分の住む地域で何があったのか学んでいきたい。
- ・平和について学び、活動したい。

平和のために私たちができること

- ・周りの人たちに「感謝」する。
- ・平和についてたくさんの視点をもつ。
- ・たくさんの人の意見を聞いて視野を広げる。

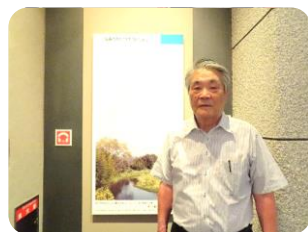
これからの活動に向けて、メンバー同士が取り組んでいきたいことや考えを交流することができました。

■ 第2回 講義「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」（7/18）

福山空襲体験者である北村剛志さんから、福山空襲の実相や当時の暮らしについて、当時の写真や資料を用いながらの説明とともに、復興へのあゆみ、平和への願いについてもお話をいただきました。

感想

- ・平和な国にしているのは国民だということが一番心に残った。今、普通に学校に行って、勉強できていることは、普通ではないということに気づいた。
- ・「だれかに責任転嫁」というのが、今の世の中でも起こることがしばしばある。平和な世の中というのは、こういうことがなくなってこそ生まれるものなのかなと思った。



講師：北村 剛志さん
（元人権平和資料館副館長）

■ 第3回 絵本「母と子の八月八日-福山空襲と母子三人像-」の朗読動画収録（7/23）



動画配信で開催された「2021市民平和のつどい・第67回市民平和大会」に参加しました。絵本の朗読を通して、平和への願いを動画で届けました。

朗読に参加するメンバー5人で、撮影直前まで朗読のポイントを確認しながら練習を行った後、福山市人権平和資料館に展示されている母子三人像の前で撮影を行いました。みんな緊張している様子でしたが、絵本を制作された方の思い、願いを考えながら、心を込めて朗読しました。



絵本の朗読を通したメッセージの発信

- ▶ QRコードを読み取ると動画（YouTube）に移動します。

朗読の動画を通して、平和があたり前ではない時代があったこと、それを繰り返してはいけないことなどを学び、平和な社会のために、私たち一人ひとりに何ができるのか考えてみてください。

活動報告

■ 第4回 「ヒロシマ青少年平和の集い」オンライン参加 (8/5)

オンラインで開催された「ヒロシマ青少年平和の集い」には、ふくやまピース・ラボを含め、福島県から沖縄県までの6団体が参加しました。

原爆被害の概要

広島市で活動されている中・高校生ピースクラブのみなさんから、原爆被害や当時の暮らし、原爆が与えた人体への影響など、当時の貴重な写真やスライドを使って説明していただきました。

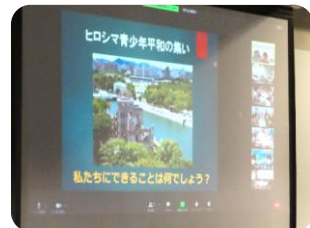
被爆体験証言者による体験講話聴講

8歳のとき爆心地から2.5キロメートル離れた己斐本町の自宅で被爆された八幡照子さんからお話を聴きました。メンバーからは、「聴いただけでも苦しいお話だったので経験された方は本当に苦しく、つらかっただろうなと感じた。」と感想がありました。

ワークショップ (2つのテーマでディスカッションを行いました。)

オンラインでのディスカッションには少し戸惑いもある様子でしたが、普段とは違う視点の意見も聞くことができ、これからの活動に向けての良い交流ができました。

オンラインでの同世代との交流、「ヒロシマ青少年平和の集い」を通して、あらためて原爆被害の恐ろしさを学びました。今を生きる私たちにできること、戦争の悲惨さや平和の大切さをこれからの活動を通して伝えていきましょう。八幡さんからの「平和のバトン」を受け取り、次の世代にバトンをつないでいきましょう。



■ 第5回 「第67回原爆・福山戦災死没者慰霊式」参列 (8/8)



2021年8月8日、1945年8月8日の福山空襲から76年を迎えました。

16時30分に、まなびの館ローズコムに集合。追悼のことばの立ち位置確認や最終リハーサル、折り鶴献納の流れの確認を行った後、17時30分から慰霊式に参列、ふくやまピース・ラボを代表して3人が追悼のことばを述べました。

「『戦争は過去の事だ』と思わず、76年前に何があったのかを知り、平和とは何かを、戦争を知らない世代に伝えていくことが、これからさらに大事になってくるのではないかと思います。」

「今を生きる私たち、一人ひとりの行動する勇気が、平和な未来を作ります。これからも、笑顔で毎日過ごせる世界を実現させるため、ともに行動していきましょう。」と、自分たちで考えた平和への思い、誓いを力強く訴えることができました。その後、折り鶴献納と献花を行い、犠牲者を悼みました。

これからの活動をととして、平和の尊さについて多くの方に伝えていこうと、平和への思いを新たにしました。

■ 第6回 「ピースウォーク」の実施に向けて (10/3)

「ピースウォーク」は、これまでの活動で学んだ福山空襲や戦時下の暮らしに関する情報をもとに、参加者と一緒に福山城公園やその周辺の戦争遺跡を説明しながらめぐり、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考え、理解を深めてもらうことを目的に開催しています。

第6回の活動では、「ピースウォーク」の開催に向けて準備を進めました。今後のスケジュール確認を行った後、説明原稿の作成のため福山城周辺を歩いてめぐりました。

■ 第7回 「戦争体験を聴き取る会」への参加 (10/23)

福山市立福山中・高等学校で行われた「戦争体験を聴き取る会」に参加しました。講師の年永熙一さんは、鹿児島県(知覧の近く)生まれで、宇佐海軍航空隊での空襲体験、その後の状況、お兄さんとの思い出についてお話をいただきました。

年永さんからのメッセージ

命が最も大切である。人の命を奪うところが戦場である。今も大人になっても、平和が大切であり、命の大切さを思い、大切にしていってほしい。

感想

- ・お話を聴くだけでなく、ともに話すこともできたので、より深く感じ、考えることができた。
- ・戦争は遠い過去ではなく、近い過去としてとらえないといけないと思った。
- ・戦争の悲惨さについて学び、「平和」と「命」の大切さについて考えることができた。



講師：年永 熙一さん



■ 第8回 講義「福山空襲 ～ 8月8日に体験したこと～」(10/24)



講師：森近 静子さん



蚊帳(かや)

福山空襲体験者であり、現在も「ふくやまピースナビ(平和継承に取り組む市民団体)」で福山空襲の証言活動を行っている、森近静子さんから講義を受けました。

森近さんからのメッセージ

私たちは、あの時の苦しみや悲しみを忘れることはできない。このことをきちんと伝承していくことが大切だと思う。優しい心を、平和な社会を、世界を、親から子どもへ、子どもから孫へと伝承してほしい。

感想

- ・はじめて蚊帳を見ることができた。言葉では聞いたことがあったけれども、見たことがないので想像しづらかったが、今回見ることができてとても分かりやすかった。
- ・自分たちが伝えていけないといけないと、伝えられたようだった。

■ 第9回 広島中・高校生ピースクラブとの交流 (10/30)

広島市の中・高校生ピースクラブのみなさんとは、8月5日にオンライン開催された「ヒロシマ青少年平和の集い」でつながり、交流会開催の運びとなりました。

2つのグループに分かれて行ったディスカッションでは、「今、あなたは平和だと思いますか?」、「平和について、どのように学び、どう伝えていきたいですか?」のテーマについて、自分たちの思いや考えを伝え合いました。

みんなの考え

- ・被爆の実相などを日本側の視点からではなく、他の視点からも見て、事実を知ったうえで、社会に発信していけたらいいと思う。
- ・それぞれの価値観を理解することはできないけど、寄り添いながら平和を伝えられるようになりたい。
- ・学んでは伝え、学んでは伝えて、少しずつ伝えていけたらいいと思う。
- ・原爆・空襲など戦争を体験した方から話を聴くことが学びにつながる。それを伝えていくためには、身近な人から伝えていくことが大切だと思う。

中・高校生ピースクラブでボランティアをしている大学生がまとめて言われた、「多様性を認めながら話し合い、新しい考えを導き出していく」のとおり、今回の交流会で、自分の考えを伝え、相手の考えを聴くことの大切さ。そして、それをとおして新しいアイデアが生まれてくることがわかりました。



活動報告

■ 第10・11・12・13回 「ピースウォーク」の実施に向けて (11/7, 11/21, 12/5, 12/11)

第10回～13回の活動では、12月12日(日)に開催する「ピースウォーク」の実施に向けて準備を進めました。「ピースウォーク」の実施に向けて、戦争遺跡についての事前学習や説明原稿の作成、手作りのマップや参加記念品の作成等をみんなで工夫しながら行いました。

また、第13回の活動では、実際のルート歩いてリハーサルと説明練習を行いました。



■ 第14回 「ピースウォーク」の実施 (12/12)

10時から福山市人権平和資料館で開会行事を行いました。自己紹介、「ピースウォーク」に向けて作成したマップの紹介、福山空襲の概要について説明を行った後、「ピースウォーク」に出発しました。

高野山福山別院、福山城石垣、安部和助別邸(福寿会館)、防空壕跡、備後護国神社、慰霊碑の順にめぐりました。それぞれのポイントでは、メンバーが考えた原稿をもとに、この場所で起きたことやこの場所が伝えていることについて説明を行いました。

参加者の感想

- ・身近に戦争遺跡があることを知らなかった。知ることは大事。
- ・若い人が戦争について学ぶことは大切なことだと思う。
- ・もっと輪が広がったらいいと思う。
- ・福山に住んでいても、福山空襲のことはよく知らなかったのでも勉強になった。

ふくやまピース・ラボのメンバーの感想

- ・初めて知ったことも多く、新しい学びがたくさん得られた。私もいつか何も見ずにすらすらガイドできるくらいの知識を、これからも活動に参加して得たいと思う。
- ・とても緊張していたが、参加していただいた方に一生懸命伝えることができた。
- ・平和について学んだことを発信できてよかった。



■ 第15回 1年間の活動を振り返って「ピースアート2021」の制作 (2/27)

2カ月ぶりとなった活動には、6人のメンバーが集まりました。1年間の活動を振り返り、より多くの方に私たちの活動を知ってもらうため「ピースアート2021」の制作を行いました。みんなが事前に考えてくれていたデザイン案の中から、今年のピースアートのデザインを選び、平和へのメッセージを込めながら、みんなで協力して制作しました。





ピースウォークに向けて作成した
ふくやまピース・ラボ手作りのマップ

■ 第16回 修了式 (3/13)

活動の様子を納めた写真やメッセージ写真を組み合わせ「Connect to the future～平和のバトンを未来へつなぐ～」というメッセージを込めて制作していた「ピースアート2021」が完成しました。完成したピースアートは、まなびの館ローズコムのエントランスホールに、2022年5月10日(火)正午まで展示しています。

そして、ピースアート完成後は、修了式を行いました。福山市人権平和資料館の高橋館長からメンバー全員に、参加証書の授与を行い、メンバーは活動を終えての感想を発表しました。

感想

- ・福山空襲や原爆について、たくさんのことを学んだ。メンバーと意見交流ができてよかった。
- ・原爆被害者の方からのお話が印象に残っている。これからは世界にも目を向けたい。
- ・たくさんの人に平和について発信していきたい。

高橋館長からは、「ラボの活動で学んだことを活かして頑張ってください。」とメッセージをいただきました。

今年度もコロナ禍で制限される中での活動となりましたが、多くの方にご協力いただき、全16回の活動を行うことができました。みんなのこれからの活動・活躍に期待しています。



2021ふくやまピース・ラボの活動を終えて

■ 梶原 百恵（高校3年生）

今年度もコロナによって活動に制限がありましたが、仲間と共に交流を深めながら学ぶことができました。

中3のときから入ったピース・ラボには多くの出会いや学びがありました。私は今年の3月で高校を卒業し、次は大学生です。大学では「新たな平和の発信」を創るためにも、これまでの活動を活かすと同時に福山や広島だけでなく世界全体を見つめる広い視野を持って、これからも出会いと学びを広げていきたいです。

■ 北村 桃子（中学校3年生）

私が一番印象に残っているのは、実際に原爆の被害者の方にお話を伺ったことです。その方はお話の中で、その時のことは今も五感で覚えていて、そのことを思い出すと夜も眠れないとおっしゃっていました。そのお話を聞き、あらためて戦争は人の身体を傷つけるだけではなく、人の心も傷つけてしまうということを痛感しました。

今でもまだ戦争、紛争が続いています。直接、私にできることは限られていますが、学び伝えていくことを続けていきたいです。

■ 松脇 汐音（中学校3年生）

今年は私にとって3年目の活動でした。昨年に続きコロナウイルスの流行で限られた中での活動でしたが、それを機に多角的に学ぶことができました。

日本では今戦争はありませんが、ニュースでは毎日のように殺人や事件が報道されています。これは平和と言えるのでしょうか。

一人ひとりが人を思いやることが平和への第一歩だと思います。「あなたは今、平和だと思いますか。」その質問に世界中の方たちが「平和だ」と答えられる日が来ることを願って。

■ 藤井 杏香（専門学校1年生）

今年の活動では8月8日の慰霊式が印象に残っています。コロナの影響があり、時間短縮での開催となりましたが、途絶えさせずに継続できたこと、そして、私に関わることができたことを嬉しく思います。

戦争のない日本で暮らしている私達は、平和について考える事は難しいかもしれませんが、少しでも多くの人に平和について考える機会を与えられていたら嬉しいです。

小さな平和活動かもしれませんが、ピース・ラボの一員として活動してきた事を大切にしていきたいと思っています。

■ 矢野 結乙（高校2年生）

ふくやまピース・ラボ2年目の活動では、メンバーのみなんで、絵本「母と子の八月八日ー福山空襲と母子三人像ー」の朗読、広島市で活動されている中・高校生ピースクラブのみなさんと平和学習会をするなど、平和についての発信や交流などがたくさんでき、とても良い経験になりました。この経験をとおして、より一層、平和の大切さを多くの人たちに伝えていこうと思いました。

■ 山田 真生（高校3年生）

今年度は、活動にあまり参加することが出来ず、また、コロナウイルスの影響で参加出来る日が限られましたが、その分、1回1回を大切に活動をしてきました。福山空襲についてのアンケートをする中で、福山以外の人からの声も聞くことが出来て新しい考え方も知ることができました。大学生になっても、進学先で福山空襲のことなどを話していきたいと思っています。



■ 川西 満葉（高校3年生）

今年度は高校生活最後のふくやまピース・ラボの活動となりました。受験と重なり、あまり参加することは出来ませんでした。平和についてたくさん考える年になったと思います。私は来年から他県へ引越しします。今以上に平和活動関連のニュースに触れることが無くなるとは思いますが、3年間の活動とおして得た知識をもって、平和を構成する一員として行動したいと思っています。

3年間ありがとうございました！

■ 山口 蒼空（高校3年生）

私は今年度、2年目の活動でした。受験勉強で参加は少ししかできませんでしたが、日常生活の中で「平和」に対する自分の考え方が変わったな、と思うことが増えました。

また、何気ない生活の一部であったテレビやSNSは、自分を成長させるものとなりました。様々な人の考え方を取り入れ自分の考えを広げることは、自分の言葉に責任を持つことにもつながりました。これからも平和活動に努めていきます。

■ 佐々木 琴子（高校3年生）

今年はピース・ラボへの参加はあまりできませんでしたが、国際関係のニュースをとらして平和について考えさせられる一年になりました。自分自身が今戦争や紛争などのない幸せな生活をしている一方で、苦しんでいる人がいるということは忘れてはいけないことだと改めて感じました。日々の生活への感謝を忘れず、平和について考え、発信する人材になりたいです。

■ 谷口 結萌（中学校3年生）

私は、ふくやまピース・ラボの活動をとらして、福山空襲の悲惨さや平和の尊さをあらためて学べました。私は特にピースウォークが心に残っています。それは、自分で学び・発信できたからだと考えます。今の私にできることは、もっと空襲について学び、そして学んだことを未来に発信することです。平和がいつまでも続けられるよう、戦争をなくしていけないといけなことをピース・ラボの活動で学び、これからも続けていきたいと思っています。

■ 大内 由紀子（高校2年生）

みなさんは、福山市のどんな所が好きですか？私は、気候が温暖でとても暮らしやすい所や、ばらが街の色々な場所で咲いている所が好きです。では、みなさんは福山市をどれくらい知っていますか？

私は、ふくやまピース・ラボに参加するまで福山市について何も知らなかった事に気づきました。ラボに参加し、人権平和資料館の方から、福山空襲で何があったのか詳しく教えていただいたり、12月のピースウォークに向けて自分で調べ学習をしたりするうちに、福山市についてもっと知りたい・もっと学びたいと思うようになりました。

これから生きる若者として、福山空襲の歴史を風化させないように、引き続きピース・ラボで学び、いつかこの歴史を伝承する側になればと思います。





ピースアート2021

Connect to the future

- 平和のバトンを未来へ -

発行
編集

2022年3月
福山市まちづくり推進部人権・生涯学習課
〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号
TEL (084)928-1243
FAX (084)928-1229



ふくやまピース・ラボ
イメージキャラクター「ピきゅう」